

～通知簿の見方～

中学生のみなさん、1 学期間よくがんばりましたね。今回は成績の見方についてです。成績は、高い・低いではなく、自分自身の成長をみることができる大事な機会です。自分自身の学習への取り組み方を振り返って、2 学期の学習に対してどんな目標を持つのか、前向きなリフレクションをして夏休みを迎えましょう！！

各教科 A・B・C・D の 4 観点で評価されています。各観点、8 点満点です。

各教科 1 年間かけて 4 観点すべてが、評価されます。

(※注意※ 現 (1 学期) 時点では、評価されていない観点もあります。)

【例】

A	B	C	D
3	5	4	7

『表 1』をみると、各教科で ABCD が何の評価を示しているのかが分かる。

この場合、 $3 + 5 + 4 + 7 = 19$ 点 『表 2』を見ると、IB 評価は 5、文部科学省の評価は 4 となる。



『表 1』

	A	B	C	D
国語	分析	構成	創作	言語の使用
英語	リスニング	リーディング	スピーキング	ライティング
社会	知識と理解	調査探究	コミュニケーション	批判的思考
理科	知識と理解	探究とデザイン	手法と評価	科学的影響の振り返り
数学	知識と理解	パターンの探究	コミュニケーション	実生活への応用
音楽・美術	調査	発展	創作・実演	評価
保健体育	知識と理解	活動の計画	応用と実践	活動の振り返りと改善
家庭科	探究と分析	アイデアの発展	課題解決	評価
コミュニティ プロジェクト	調査探究	計画	行動	振り返り
学際的単元	評価	統合	振り返り	

『表 2』

評点 (年度末)	1～5	6～9	10～14	15～18	19～23	24～27	28～32
評定	1	2	3	4	5	6	7
(MYP)	成果物の質が非常に低い。	成果物の質が低い。	成果物の質が許容範囲である。	成果物の質が良い。	成果物の質が高い。	成果物が時に革新的。	成果物がしばしば革新的。
評定	1	2	3	4	5		
(国)	一層努力を要する。	努力を要する。	概ね満足できる。	十分満足できる。		十分満足できるもののうち、特に程度が高い。	

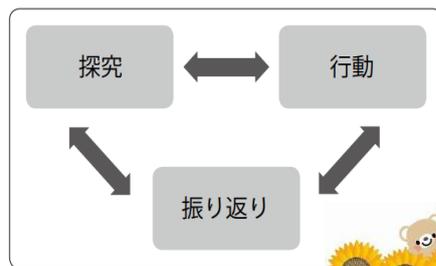


課題返却について

7月11日(火)は午前中に課題返却が行われ、午後からはHRと中学部合同コミュニケーションワークが行われました。午前中は様々な課題返却がなされ、みなさんにとっては1学期の自分の頑張りを振り返る日となりました。

IBの学習では、振り返りをする事は学習サイクルの3つの中の1つです。

「行動」「探究」「振り返り」のサイクルの中で振り返りをする事は、学習を効率的に管理し、評価するのに役立つ様々なスキルや素質を発達させます。皆さんは自分自身に対する振り返りをしっかりとし、2学期の目標を立てることはできましたか？批判的に自分の学習を振り返ることで、皆さんの学習経験をより深い理解につなげることができます！



3学年合同コミュニケーションワーク

午後からは、中学部で初の合同コミュニケーションワークでした。いつもは外部講師の佐藤眞史先生をお迎えして、1学期に1回、学年ごとに全員で体を動かしながらコミュニケーションをとっていますね。約3年間のコロナ禍では、身体的な活動が制限されていましたが、学年を越えて人と人が繋がるということは、コミュニケーションスキル・協働スキル・情動スキルを育てます。

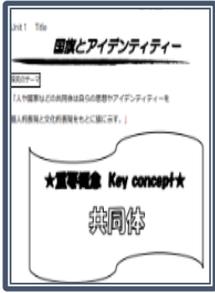


この2時間の晴れやかな皆さんの笑顔から、体を動かす楽しさ・人との交わりから感じられる優しさなど、五感をフルに使った活動の充実感が感じられました。ルールを守って集団で楽しく活動することの大切さを、身をもって感じてくれたのではないかと思います。

この気持ちを忘れずに、学級や学年でも積極的に、様々な形で人とつながってほしいと思いました。



J1 個人と社会 重要概念：アイデンティティー



社会科では“旗はアイデンティティーを示すことができるのか”という探究のテーマに基づいて、自分の旗を作るレポートに取り組んでくれました。作品には自分自身のアイデンティティーをイラストと文章で表すことができました。皆さんの一生懸命考える姿が目に見え、目に浮かぶようです！
この課題では自分のことを深く掘り下げて、自分の本質を表す作業に取り組んでくれました。



J1 英語 重要概念：コミュニケーション



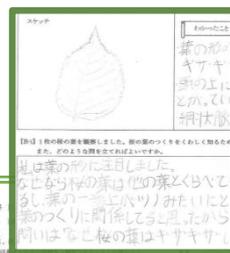
英語では、

“This is ME!”というタイトルで、英語で自己紹介する取り組みをしました。EP

の時間には、みんなの前でスライドをみながら、堂々と英語で自己紹介する姿がとても印象に残りました。初めての経験でも、臆せずみなさんは“挑戦する人”でした。皆さんの振り返りから、コミュニケーションとは何かということ深く考えてくれていることがわかります。皆さんの振り返りを、何点が抜粋します。

- ・「相手とメッセージをやり取りするには、相手がどんな人なのかを考え、これは言っている言葉がどうか、正しい言葉を選び相手の気持ちを考えて行動するとコミュニケーションが成功する。」
- ・「挑戦する人」になれた。分からなくても「よし！解いてみよう！」ということ意識してたくさん解答を作った。小学生の時めんどくさいと思っていたのが、「やってみよう！」に変わりました」
- ・「頭の中で正しい言葉を想像しながら発言するのが大事。私もすっかり完璧にコミュニケーションが取れるように、言葉をもっと覚えようと思いました」
- ・「グループワークをすることが多かったので、学校以外でも社会や海外に出たときに、コミュニケーション力は役に立つと思った」

J1 理科 重要概念：関係性



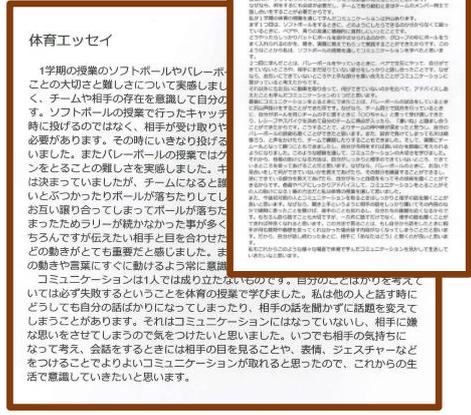
理科の探究のテーマは「表現された一見異なる形式に対するパターンへの気づき、形と性質から関係性を考える」でした。皆さんは校内で調査データを集め、「ものの形の秘密を知るために、身近なものを生徒が選び、ものの形とその性能から関係性をみつける。」というテーマでレポートを書いてくれました。
担当の藤田先生からは、「自分では思いつかなかった視点で物事を見ることが出来ている生徒もいて、びっくりしました！」とお言葉をもらいましたよ。
しっかりと考えてよくまとめていることが、レポートの様子から見て取れますね。この調子で、自分の中にある探究する芽を育み続けてください！



J2 体育 重要概念：コミュニケーション



探究のテーマは「チームが効果的に機能するシステムづくりには、コミュニケーションが必要不可欠である」でした。皆さんはブックレットに日々取り組み、最後にエッセイを書いてくれました。体育の課題に対しても、しっかりと言葉を使ってコミュニケーションをしてきています。言葉を普段から大事にする姿勢が、体育の授業でも育まれていきます。



J2 デザイン 重要概念：システム

「不確定な事態に備えて、あらかじめ有効なシステムを構築する。そして、持続可能なシステムの構築のためには、協働する必要がある。」というテーマは、災害の多い日本ではとても身近で大事なテーマだと感じますね。2年生は、中学1年生の教室に朝の会の時間に出かけて、後輩にプレゼンテーションをたくさんしました。朝から頑張っている先輩の姿を見ることは、1年生にとっても、よい刺激になりました。



J3 デザイン 重要概念：コミュニケーション

探究のテーマは「言葉に頼らないコミュニケーションは、新たなアイデンティティやモノの見方を発見するきっかけとなる」でした。皆さんは言葉や能力の発達に差がある幼児でも遊べるおもちゃを考えて創作してくれました。皆さんの作品の素晴らしさから、他者を理解しようとするやさしさ、思いやりの気持ちが伝わってきます！おもちゃを考えることをきっかけに、立場の違う人への配慮を学ぶことができました。



J3 英語 重要概念：つながり



「私たちが動物たちと関わりを持つということはその文脈（状況）によって異なり、そして私たちが動物と良い関係を築くためには様々な視点を持つことが必要である」というこの探究のテーマに対して皆さんが挑戦してくれたのは、200語の英作文です。さすが3年生ですね！時間内に自分の考えをまとめ、英語でエッセイを書くという課題に果敢に挑戦してくれました。IBガールとしてのみなさんの成長ぶりには目を見張るものがあります。1・2年生のみなさんは先輩たちの良きお手本を見て、この努力する姿勢をしっかりと見做ってほしいと思いました。

保護者の皆様へ

いつも本校の教育にご支援を賜りありがとうございます。生徒の皆さんは、1学期の課題に対して力いっぱい取り組んでくれました！それぞれの作品にお子様其々の個性があり、よく考え、工夫した後がみられました。人と比べるのではなく、お子様の1学期の取り組みを一緒に振り返って、頑張った取り組みに対しては、惜しみない拍手を送っていただけたらと思います。この夏休みもご家庭で、ぜひ探究の芽を一緒に育てていただきますようお願いいたします。